



2024年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年8月10日

上場会社名 鈴茂器工株式会社

上場取引所 東

コード番号 6405 URL <https://www.suzumo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 美奈子

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部長

(氏名) 志賀 融

TEL 03-3993-1371

四半期報告書提出予定日 2023年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	3,262	3.9	175	31.9	180	32.3	128	16.3
2023年3月期第1四半期	3,141	14.5	257	29.2	266	28.9	153	45.8

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 143百万円 (37.7%) 2023年3月期第1四半期 231百万円 (29.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	9.97	
2023年3月期第1四半期	11.93	

(注) 当社は、2022年8月1日付で普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行っております。1株あたり四半期純利益については、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	17,070	13,653	79.8
2023年3月期	17,033	13,716	80.4

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 13,627百万円 2023年3月期 13,691百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		15.00		16.00	31.00
2024年3月期					
2024年3月期(予想)		15.00		16.00	31.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,960	9.6	330	24.4	335	28.6	220	42.0	17.02
通期	15,000	11.5	1,500	24.6	1,505	32.1	1,020	23.5	78.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期1Q	12,960,000 株	2023年3月期	12,960,000 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2024年3月期1Q	34,574 株	2023年3月期	34,014 株
------------	----------	----------	----------

期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期1Q	12,925,846 株	2023年3月期1Q	12,902,425 株
------------	--------------	------------	--------------

(注)当社は、2022年8月1日付で普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し発行済株式数(普通株式)を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2023年4月1日～2023年6月30日）におけるわが国経済は、製造業の景況感が持ち直したほか、非製造業は宿泊・飲食サービスなどを中心に消費関連業種の景況感が改善し、景気は緩やかな回復傾向となりました。特に個人消費は、各種催事の復活や人の動きの活発化により、外食、旅行をはじめとするサービス消費の拡大に伴い回復基調を維持しました。

なお、景気の先行きについては、個人消費、設備投資、インバウンド需要が牽引役となり、緩やかな回復が続く見通しとなっております。

このような環境の下、当第1四半期連結累計期間は、外食・小売業における機械化や省人化の動きは引き続き継続しており、製品需要は堅調に推移しました。なお、一昨年より継続していた半導体や部材の供給不足による生産活動への影響は、当第1四半期連結累計期間に入り概ね解消しております。

国内は、原材料価格やエネルギー価格の高騰により、外食・小売業にとっては厳しい事業環境が続いておりますが、2023年5月に新型コロナウイルスの5類移行、インバウンド需要の回復、および人手不足を背景とした省人化の動きは継続しており、製品需要は堅調に推移しました。業態別では、大手回転寿司チェーンからの寿司ロボットの入替需要が牽引したほか、レストラン・食堂業態およびホテル・旅館・給食業態からのご飯盛付けロボット（Fuwarica）の製品需要が拡大し、国内売上高は前年同四半期を上回りました。

海外は、外食・小売業における人手不足の深刻化や人件費の高騰により、機械化や省人化の動きは引き続き継続しているものの、欧米を中心としたインフレや金融引き締め、ウクライナ情勢を巡る地政学的リスクなどを背景に事業者の設備投資意欲の減退を招き、製品需要は減少いたしました。地域別では、東アジアや東南アジアでは、外食需要の回復が引き続き進んでいること、日系企業の海外進出の増加に伴い製品需要が拡大しました。しかしながら、欧州において、ウクライナ情勢によるエネルギー価格高騰や供給懸念の深刻化に伴う事業者への影響が継続しており、設備投資計画の中止や延期等により製品需要が減少し、海外売上高は前年同四半期を下回りました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、32億62百万円（前年同四半期比3.9%増）と前年同四半期を上回る結果となりました。国内・海外別の売上高の内訳は、国内売上高が23億52百万円（同15.4%増）、海外売上高が9億9百万円（同17.5%減）となりました。

当第1四半期連結累計期間の概況

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)		増減額 金額 (百万円)	増減率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)		
売上高	3,141	100.0	3,262	100.0	121	3.9
国内	2,039	64.9	2,352	72.1	313	15.4
海外	1,102	35.1	909	27.9	△192	△17.5
売上総利益	1,497	47.7	1,527	46.8	29	2.0
営業利益	257	8.2	175	5.4	△82	△31.9
経常利益	266	8.5	180	5.5	△86	△32.3
親会社株主に帰属する四半期純利益	153	4.9	128	3.9	△25	△16.3

利益面につきましては、売上高の増加により、売上総利益は15億27百万円（同2.0%増）と前年同四半期を上回りました。営業利益は、海外の売上高減少や物流費高騰の落ち着きにより荷造運送費は減少したものの、前連結会計年度に行った事業成長を見据えた基盤構築に伴う人件費の増加、本社移転に伴う賃借料の増加、また、渡航制限の解除に伴う海外出張を中心とした旅費交通費の増加、製品開発への投資を中心に販売費及び一般管理費が増加し、1億75百万円（同31.9%減）と前年同四半期を下回りました。経常利益は1億80百万円（同32.3%減）と前年同四半期を下回りました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同四半期にスズメンテナンス株式会社を吸収合併したことに伴う抱合せ株式消滅差損25百万円を特別損失に計上した影響に伴い減少幅は縮小したものの、1億28百万円（同16.3%減）と前年同四半期を下回りました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ37百万円増加し170億70百万円となりました。これは主に、現金及び預金が2億87百万円減少しましたが、棚卸資産が1億96百万円、固定資産が1億94百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ1億円増加し34億17百万円となりました。これは主に、未払法人税等が82百万円減少しましたが、流動負債その他に含まれる未払費用が2億79百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ62百万円減少し136億53百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により1億28百万円増加し、為替換算調整勘定が8百万円増加しましたが、利益剰余金が配当金の支払により2億6百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想値につきましては、2023年5月12日公表時から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,865,751	4,578,022
受取手形及び売掛金	1,577,115	1,428,832
電子記録債権	168,167	218,525
棚卸資産	2,762,466	2,959,305
その他	312,173	344,458
流動資産合計	9,685,674	9,529,145
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,578,410	1,558,251
土地	3,664,888	3,664,888
その他（純額）	725,669	795,893
有形固定資産合計	5,968,967	6,019,033
無形固定資産		
のれん	33,051	30,847
その他	419,417	557,091
無形固定資産合計	452,468	587,938
投資その他の資産		
投資有価証券	36,801	39,966
繰延税金資産	607,053	620,692
その他	289,726	281,397
貸倒引当金	△7,680	△7,680
投資その他の資産合計	925,901	934,377
固定資産合計	7,347,338	7,541,350
資産合計	17,033,012	17,070,495

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	504,671	575,773
1年内返済予定の長期借入金	60,545	59,109
未払法人税等	168,848	86,214
賞与引当金	204,918	188,257
その他	863,698	990,117
流動負債合計	1,802,682	1,899,471
固定負債		
長期借入金	209,969	195,629
役員退職慰労引当金	2,880	3,090
退職給付に係る負債	1,140,102	1,157,192
その他	161,198	161,897
固定負債合計	1,514,150	1,517,808
負債合計	3,316,833	3,417,280
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,154,418	1,154,418
資本剰余金	998,054	998,054
利益剰余金	11,476,082	11,398,091
自己株式	△20,707	△20,707
株主資本合計	13,607,847	13,529,857
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	181,693	190,650
退職給付に係る調整累計額	△98,495	△93,314
その他の包括利益累計額合計	83,197	97,335
非支配株主持分	25,134	26,022
純資産合計	13,716,179	13,653,215
負債純資産合計	17,033,012	17,070,495

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)
売上高	3,141,058	3,262,082
売上原価	1,643,667	1,734,884
売上総利益	1,497,391	1,527,197
販売費及び一般管理費	1,239,985	1,351,844
営業利益	257,406	175,352
営業外収益		
受取利息	66	326
受取配当金	731	—
持分法による投資利益	—	2,939
為替差益	10,894	1,611
その他	910	1,354
営業外収益合計	12,602	6,231
営業外費用		
支払利息	644	670
譲渡制限付株式関連費用	691	140
持分法による投資損失	1,903	—
その他	49	138
営業外費用合計	3,289	948
経常利益	266,719	180,635
特別利益		
投資有価証券売却益	160	—
特別利益合計	160	—
特別損失		
固定資産除却損	—	6
役員退職慰労金	5,400	—
抱合せ株式消滅差損	25,441	—
特別損失合計	30,841	6
税金等調整前四半期純利益	236,038	180,629
法人税等	81,576	51,384
四半期純利益	154,461	129,244
非支配株主に帰属する四半期純利益	509	418
親会社株主に帰属する四半期純利益	153,951	128,825

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	154,461	129,244
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△275	—
為替換算調整勘定	61,444	9,199
退職給付に係る調整額	4,907	5,181
持分法適用会社に対する持分相当額	10,511	226
その他の包括利益合計	76,586	14,607
四半期包括利益	231,047	143,851
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	229,244	142,963
非支配株主に係る四半期包括利益	1,803	888

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、見積実効税率を使用できない場合には、法定実効税率を使用しております。